第77回セメント技術大会において、石山直知さん(環境科学専攻・博士前期課程2年)及び中里光孝さん(環境科学専攻・博士前期課程1年)のお二人が優秀講演者に選ばれました。

一般社団法人セメント協会主催が令和5年5月17日から5月19日に赤坂インターシティコンファレンスで開催した、第77回セメント技術大会において、石山直知さん(自然科学研究科環境科学専攻・博士前期課程2年)及び中里光孝さん(自然科学研究科環境科学専攻・博士前期課程1年)が優秀講演者に選ばれました。

本表彰は、大会全体の活性化と若手研究者・技術者 (35歳以下)の研究奨励を目的としており、 ①講演要旨のわかりやすさ、②プレゼン資料の表現、③発表の方法。④時間配分の適切さ、⑤発 表時間、⑥質問に対する回答の的確さ、⑦発表態度、⑧研究内容のレベルについて審査を行い、 特に優秀と認められた講演者に対し授与しています。

発表者:石山直知(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程2年) 中里光孝(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程1年)

指導教員:斎藤豪 准教授

発表題目: 低圧水蒸気吸着の ESW 分析による C-S-H の微細構造および炭酸化挙動解析(石山) 活性化処理を施したアロフェンを用いたセメント系新材料における水和生成物の評価(中里)

URL: https://www.jcassoc.or.jp/kenkyuujo/02_gijutushien/0201_gijutsutaikai.html

